

2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 信和株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3447 URL <http://www.shinwa-jp.com>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山田 博
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理本部長（氏名） 平澤 光良（TEL）0584-66-4436
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）
（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,381	△31.9	745	△39.0	711	△40.0	490	△39.8	483	△40.6	492	△39.6
2020年3月期第2四半期	9,370	8.7	1,222	21.7	1,186	21.8	814	29.9	814	29.9	814	29.6
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2021年3月期第2四半期	34.33				34.19							
2020年3月期第2四半期	58.25				57.84							

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	21,420	13,674	13,619	63.6
2020年3月期	21,620	13,788	13,740	63.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	44.00	44.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	13,900	△18.6	1,550	△29.9	1,480	△30.8	1,019	△30.6	1,000	△31.8	70.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	14,089,200株	2020年3月期	14,089,200株
2021年3月期2Q	一株	2020年3月期	一株
2021年3月期2Q	14,089,200株	2020年3月期2Q	13,988,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる事項等につきましては、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、消費活動のみならず社会経済活動が著しく停滞したことから、極めて厳しい状況でありました。

また、景気動向は持ち直しの動きが見られるものの、設備投資は引き続き弱い動きを示しており、今後も国内外の感染症の動向をはじめ、未だ予断を許さない状況が継続しております。

当社製造製品の供給先である建設業界におきましては、緊急事態宣言の発令以降、建築現場における工事の中断・延期、先行き不安により新規投資が抑制される等の影響がみられましたが、緊急事態宣言の解除後は、公共事業を中心に、想定を上回る底堅い建築需要がみられました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、社員及び取引先の健康を最優先としつつ業務効率の向上を図るべく、全拠点にて在宅勤務の推進、Web会議の利用促進など、感染症の拡大防止と効率的な事業運営に努めてまいりました。

また、売上収益の減少に備え、引き続き役員報酬等の減額やその他の固定費の削減を行うとともに、新規投資案件の見直し等、あらゆる手段を通じたコスト削減、支出抑制に取り組んでまいりました。

昨年11月に新設いたしました中国の製造子会社『広東日信創富建築新材料有限公司』においては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け立ち上げが遅れたものの、本年6月より製造・販売を開始しております。一方でフィリピン駐在員事務所については、フィリピン共和国における経済活動の停滞の長期化、及び、治安の状況等の見通しを鑑み、本年8月をもって閉鎖いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上収益は6,381百万円(前年同期比31.9%減)、売上総利益率は25.4%(前年同期比0.8ポイント改善)、営業利益は745百万円(前年同期比39.0%減)、営業利益率は11.7%(前年同期比1.4ポイント下落)、税引前四半期利益は711百万円(前年同期比40.0%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は483百万円(前年同期比40.6%減)となりました。

なお、当社グループは単一の事業セグメントであるため、以下では各部門の売上収益について記述しております。

① 仮設資材部門

仮設資材部門においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、建築工事現場における工事の中断・延期、並びに、新規建設投資案件の延期等の影響が見られたものの、想定ほどの急激な落ち込みは見られず、また、当社製品に対する需要が堅調であった結果、当第2四半期連結累計期間における仮設資材部門の売上収益は5,436百万円(前年同期比32.6%減)となり、期初の見通しを上回る着地となりました。

② 物流機器部門

物流機器部門においては、自動車産業向けパレットや液体搬送用バルクコンテナ等の海外との物流に関わる製品は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う海外との物流減少の影響を受けております。

また、当初見込んでいた大型倉庫の工事案件の検収時期が10月へ延期されることとなったため、当第2四半期連結累計期間における物流機器部門の売上収益は945百万円(前年同期比27.6%減)となり、期初の見通しを下回る結果となりました。

(単位：千円)

製品及びサービスの名称		前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
仮設資材	くさび緊結式足場	5,015,510	2,913,751
	次世代足場	1,172,177	973,795
	その他の仮設資材	1,876,926	1,548,614
	(小計)	8,064,614	5,436,162
物流機器	パレット	1,305,857	945,211
	(小計)	1,305,857	945,211
合計		9,370,471	6,381,373

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は8,376百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加しました。この主な要因は、現金及び現金同等物が162百万円、営業債権及びその他の債権が108百万円増加し、棚卸資産が228百万円減少したためであります。また、非流動資産は13,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円減少しました。この主な要因は、有形固定資産が230百万円減少したためであります。この結果、資産合計は21,420百万円となり、前連結会計年度末に比べ200百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は2,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ128百万円増加しました。この主な要因は、営業債務及びその他の債務が349百万円増加し、未払法人所得税が201百万円減少したためであります。また、非流動負債は5,598百万円となり、前連結会計年度末に比べ215百万円減少しました。この主な要因は、借入金が242百万円減少したためであります。この結果、負債合計は7,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円減少しました。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は13,674百万円となり、前連結会計年度末に比べ113百万円減少しました。この主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上483百万円、配当の実施619百万円により利益剰余金が136百万円減少したためであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ162百万円増加し3,282百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは1,058百万円となり、前年同四半期と比べ169百万円減少しました。主な収入要因は、税引前四半期利益711百万円、減価償却費及び償却費346百万円、営業債務及びその他の債務の増加351百万円、棚卸資産の減少228百万円であり、主な支出要因は、法人所得税の支払額432百万円、営業債権及びその他の債権の増加175百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は44百万円となり、前年同四半期と比べ141百万円減少しました。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出66百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は853百万円となり、前年同四半期と比べ68百万円減少しました。主な支出要因は、配当金による支出618百万円、長期借入金の返済による支出250百万円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年5月15日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2020年10月29日開示の「業績予想(IFRS)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

当連結会計年度の見通しにつきましては、国内外の新型コロナウイルス感染症の動向や、海外の通商問題ならびに経済動向といった不確定要素が多く、極めて不透明な状況であります。しかしながら、感染症拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動レベルを引き上げていく中で、持ち直しの動きも見られます。これらの状況の中、下記の想定をもとに通期見通しを策定しております。

① 仮設資材部門

仮設資材部門においては、緊急事態宣言解除以降、中断・延期されていた建設工事が再開し、仮設資材に対する需要の回復が期待されるものの、設備投資に対する慎重な姿勢が続くものと想定され、当社製品に対する需要の回復のペースは期初の想定より緩やかになると見込んでおります。

以上により、仮設資材部門の通期売上収益は11,156百万円(前期比23.3%減)を見込んでおります。

② 物流機器部門

物流機器部門は、幅広い業種業界に対して、収納・運搬にかかる各種オーダーメイド製品を供給しております。

このうち、自動車産業向けパレットや液体搬送用バルクコンテナ等の海外との物流に関わる製品は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う物流減少の影響を受けているものの、国内外の物流量の回復に伴う物流機器への投資が徐々に正常化するものと想定しております。

また、大型物流倉庫案件の検収も予定されていることなどから、物流機器部門の通期の売上収益は2,743百万円(前期比8.1%増)を見込んでおります。

コスト面におきましては、引き続き役員報酬等の減額やその他の固定費の削減を行うとともに、新規投資案件の絞り込み等を行い、あらゆる手段を通じたコスト削減に努めてまいります。

以上に基づき、次期の業績見通しにつきましては、売上収益13,900百万円(前期比18.6%減)、営業利益1,550百万円(前期比29.9%減)、税引前利益1,480百万円(前期比30.8%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益1,000百万円(前期比31.8%減)を見込んでおります。

なお、上記の予想は、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいた想定のもとに算定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響や需要動向などの業況の変化等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離する可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,120,411	3,282,707
営業債権及びその他の債権	2,777,446	2,885,775
棚卸資産	2,405,597	2,176,802
その他の流動資産	42,132	31,683
流動資産合計	8,345,587	8,376,969
非流動資産		
有形固定資産	2,370,577	2,139,934
使用権資産	353,196	365,960
のれん	9,221,769	9,221,769
無形資産	1,258,021	1,247,126
その他の金融資産	59,617	57,786
その他の非流動資産	11,760	10,725
非流動資産合計	13,274,943	13,043,303
資産合計	21,620,530	21,420,272

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	739,649	1,089,605
借入金	495,430	530,150
未払法人所得税	432,829	231,720
その他の金融負債	83,340	80,375
その他の流動負債	267,084	215,089
流動負債合計	2,018,335	2,146,941
非流動負債		
借入金	5,202,637	4,960,329
引当金	45,561	45,570
その他の金融負債	240,131	261,401
繰延税金負債	321,913	327,650
その他の非流動負債	3,900	3,900
非流動負債合計	5,814,144	5,598,852
負債合計	7,832,479	7,745,794
資本		
資本金	150,125	150,125
資本剰余金	6,951,814	6,966,121
利益剰余金	6,640,266	6,504,072
その他の資本の構成要素	△1,534	△749
親会社の所有者に帰属する 持分合計	13,740,672	13,619,569
非支配持分	47,378	54,908
資本合計	13,788,051	13,674,478
負債及び資本合計	21,620,530	21,420,272

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	9,370,471	6,381,373
売上原価	△7,063,265	△4,761,315
売上総利益	2,307,206	1,620,058
販売費及び一般管理費	△1,084,798	△908,123
その他の収益	2,926	38,541
その他の費用	△2,795	△5,172
営業利益	1,222,539	745,303
金融収益	80	155
金融費用	△35,989	△33,542
税引前四半期利益	1,186,630	711,916
法人所得税費用	△371,822	△221,424
四半期利益	814,807	490,492
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	814,807	483,730
非支配持分	—	6,761
四半期利益	814,807	490,492
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	58.25	34.33
希薄化後1株当たり四半期利益	57.84	34.19

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	814,807	490,492
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性がある項目：		
在外営業活動体の外貨換算差額	—	1,552
純損益に振り替えられる可能性がある項目 合計	—	1,552
税引後その他の包括利益	—	1,552
四半期包括利益合計	814,807	492,045
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	814,807	484,515
非支配持分	—	7,529
四半期包括利益合計	814,807	492,045

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位: 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2019年4月1日残高	150,125	6,915,576	5,793,305	12,859,007	12,859,007
会計方針の変更の 影響額	—	—	△4,805	△4,805	△4,805
2019年4月1日 修正再表示後残高	150,125	6,915,576	5,788,499	12,854,201	12,854,201
四半期利益	—	—	814,807	814,807	814,807
四半期包括利益合計	—	—	814,807	814,807	814,807
配当金	—	—	△615,507	△615,507	△615,507
株式報酬取引	—	18,445	—	18,445	18,445
所有者との 取引額等合計	—	18,445	△615,507	△597,061	△597,061
2019年9月30日残高	150,125	6,934,022	5,987,799	13,071,947	13,071,947

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
				在外営業活 動体の外貨 換算差額	その他の 資本の構成 要素合計			
2020年4月1日残高	150,125	6,951,814	6,640,266	△1,534	△1,534	13,740,672	47,378	13,788,051
四半期利益	—	—	483,730	—	—	483,730	6,761	490,492
その他の包括利益	—	—	—	785	785	785	767	1,552
四半期包括利益合計	—	—	483,730	785	785	484,515	7,529	492,045
配当金	—	—	△619,924	—	—	△619,924	—	△619,924
株式報酬取引	—	14,306	—	—	—	14,306	—	14,306
所有者との 取引額等合計	—	14,306	△619,924	—	—	△605,618	—	△605,618
2020年9月30日残高	150,125	6,966,121	6,504,072	△749	△749	13,619,569	54,908	13,674,478

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,186,630	711,916
減価償却費及び償却費	328,940	346,966
金融収益及び金融費用	35,909	33,387
固定資産売却損益 (△は益)	△199	△15
固定資産処分損	0	285
株式報酬費用	18,445	14,306
棚卸資産の増減	△46,768	228,914
営業債権及びその他の債権の増減	△229,941	△175,892
営業債務及びその他の債務の増減	25,119	351,197
その他の増減	77,710	112
小計	1,395,845	1,511,177
利息及び配当金の受取額	80	155
利息の支払額	△21,044	△19,425
法人所得税の支払額	△195,667	△432,922
法人所得税の還付額	49,482	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,228,696	1,058,985
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	50,035	—
有形固定資産の売却による収入	200	19,419
有形固定資産の取得による支出	△235,097	△66,019
無形資産の取得による支出	△3,456	—
その他	2,488	1,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△185,830	△44,767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	33,973
長期借入金の返済による支出	△250,000	△250,000
ファイナンス費用の支出	△3,991	△4,544
非支配持分からの払戻による収入	—	32,788
配当金の支出	△612,364	△618,384
リース負債の返済による支出	△55,529	△46,982
財務活動によるキャッシュ・フロー	△921,885	△853,150
現金及び現金同等物の為替変動による影響	—	1,228
現金及び現金同等物の増減額	120,980	162,296
現金及び現金同等物の期首残高	1,742,662	3,120,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,863,642	3,282,707

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。